

事後評価審議資料

道路事業（道路建設課所管）

○ 道路改築事業【（一）上白金真砂線 芥見町屋工区】

- ・平成25年度事後評価箇所表 . . . p 1～3
- ・説明資料（パワーポイント） . . . p 5～11

平成25年度事後評価箇所表

担当課〔道路建設課〕

番号	2	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業 (一般県道 上白金真砂線 芥見町屋工区)
事業実施箇所	岐阜市 <small>あくとみ おおのぎ</small> 芥見大退～岐阜市 <small>あくとみ まちや</small> 芥見町屋	全体事業費	(当初1,493) 1,493百万円
採択年度	平成14年度	完了年度	平成23年度
事後評価の実施基準	全体事業費5億円以上で、事業完了後概ね1年経過したもの		
事業目的	<p>一般県道上白金真砂線は、岐阜県関市と岐阜市を結ぶ総延長約11kmの主要幹線道路である。このうち芥見町屋工区は、岐阜市芥見大退～芥見町屋に至る延長約1.2kmの事業である。当該区間は、上白金真砂線の唯一の1車線区間であったが、平成23年度に事業が完了し2車線となった。当該区間の整備により、ボトルネックの解消や周辺道路の混雑緩和、安全で快適な歩行区間の確保を目指すものである。</p>		
事業概要	<p>事業延長 L=1,240m、幅員 W=6.0m(11.0)m 主たる工種：盛土工、法面工、擁壁工、排水工、交通安全施設工、舗装工</p>		
概要図			
	<p>整備前</p>	<p>整備後</p>	

評価結果		
①住民参加・協働による効果		
○事業化前、事業中と完了後に上芥見幹線道路対策委員会（道づくり委員会）や地元説明会を開催し、住民の方の理解を得ながら事業を推進することができた。		
②事業の効果		
○ボトルネックの解消		
<ul style="list-style-type: none"> ・整備前は、事業区間を境に2→1車線へ、車線数が減少 ・2車線化により、ピーク時における当該区間の旅行速度向上、交通量増加 		
	整備前 整備後	
上り	リバーサイド大橋南～藍川橋東間 41.2km/h 54.8km/h【約14km/h向上】	
下り	リバーサイド大橋南～藍川橋東間 19.8km/h 29.8km/h【約10km/h向上】	
交通量	8,900台/日 9,900台/日【約1,000台増加】	
○周辺道路の混雑の緩和		
<ul style="list-style-type: none"> ・2車線化により並行する国道156号の交通量が減少し旅行速度が向上 		
【国道156号の交通量・旅行速度】		
	整備前 (H22.10)	整備後 (H25.10)
交通量	20,280台/日	19,110台/日 (約1,200台減少)
旅行速度	23.8km/h	28.0km/h (約4.0km/h向上)
○安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保		
<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は、長良川清流自転車道として位置づけ ・当該区間の前後は自転車道として整備済みであり、今回の整備により一連区間の整備が完了した。（千鳥橋～千疋大橋） 		
○費用対効果分析		
<ul style="list-style-type: none"> ・上白金真砂線のB/Cは2.3と算定。 ・1.0を超える値であることから事業の妥当性が確保されていることを確認。 		
③環境面への配慮		
○民家が密集する生活道路への交通流入を軽減するため、比較的交通量が少ない夜間施工を実施		
○夜間騒音等の生活環境に配慮するため、超低騒音型の重機を使用		

④事業を巡る社会経済情勢の変化

○周辺の有料道路の無料化や道路の新規開通

- ・当該区間に直結する長良川リバーサイド有料道路が、平成24年4月1日に無料化。
当該区間の周辺に位置する岐阜東バイパスの一部区間（日野南～岩田西）が平成25年10月19日に開通。

【長良川リバーサイド有料道路の交通量】

	整備前 (H22. 10)	整備1年半後 (H25. 10)	岐阜東BP開通 1ヶ月後 (H25. 11)
長良川リバーサイド有料道路	4,100台	10,500台 (2.6倍増)	14,300台 (3.5倍増)

⑤利用者・地域住民等への効果

○利用者へのアンケート調査結果

- ・当該区間の整備に対して、約84%から満足の回答が得られている。
（「やや満足」を含む）
- ・特に安全性に対する満足度が約84%と高く、移動時間の短縮や走りやすさについても、76～78%の高い満足が得られている。（「やや満足」を含む）

⑥対応方針（案）

（今後の事業評価の必要性）

○時間短縮、走行性向上、歩行者・自転車の安全性の確保など、事業効果が確認できた。

○沿線住民等へのアンケートにおいても、8割以上の「満足」を確認できた。

（「やや不満・不満」合わせて5%未満）

→以上の点から、今の段階では今後の事業評価の必要なしと判断。

（改善措置の必要性）

○今の段階では改善の必要なし。今後、新たな課題が生じた場合には対応していく。

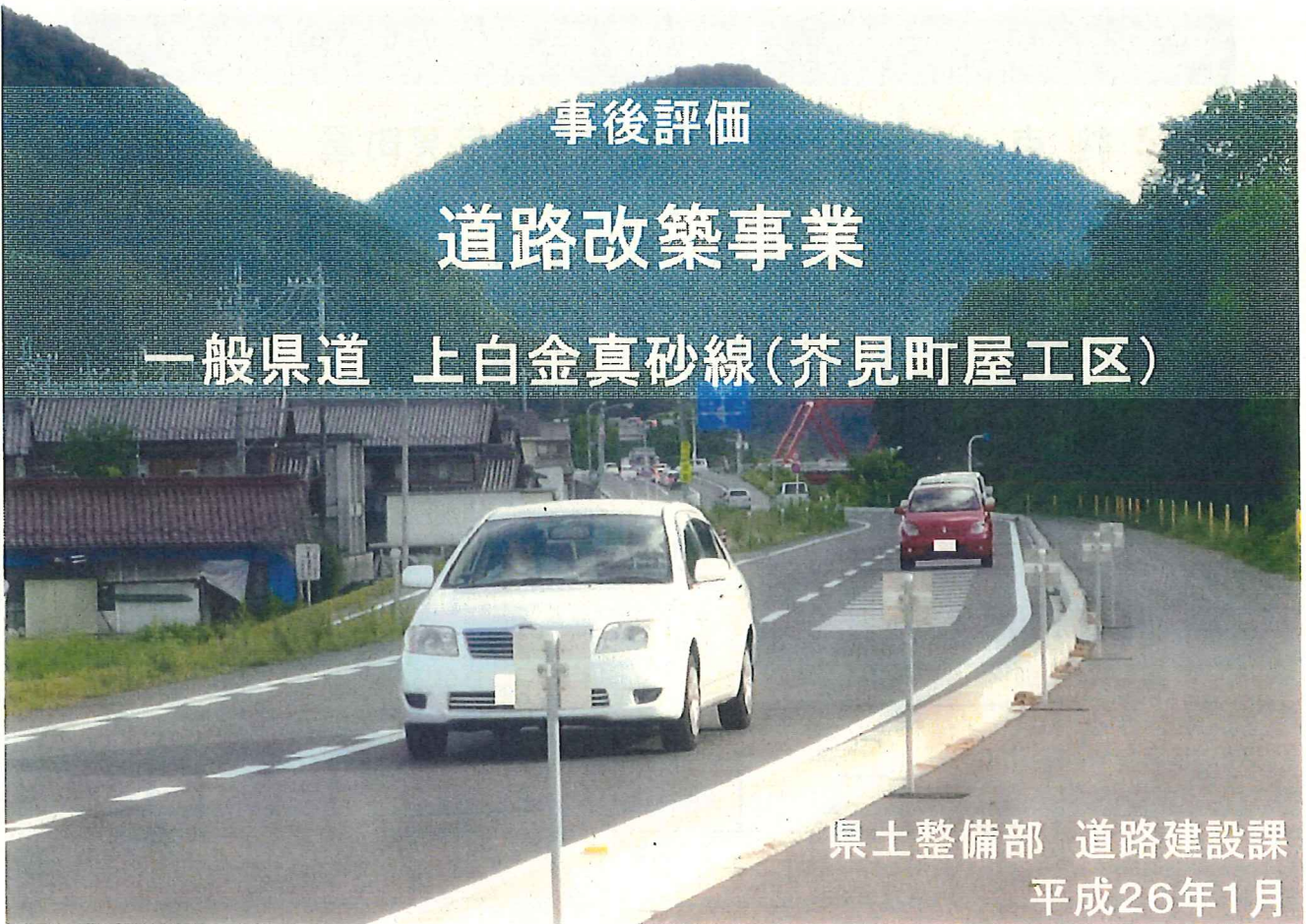
（新規事業へ適用すべき留意点）

○今後も引き続き、関連する各種事業との連携を図りつつ計画的に道路事業を立案・推進していく。

事後評価

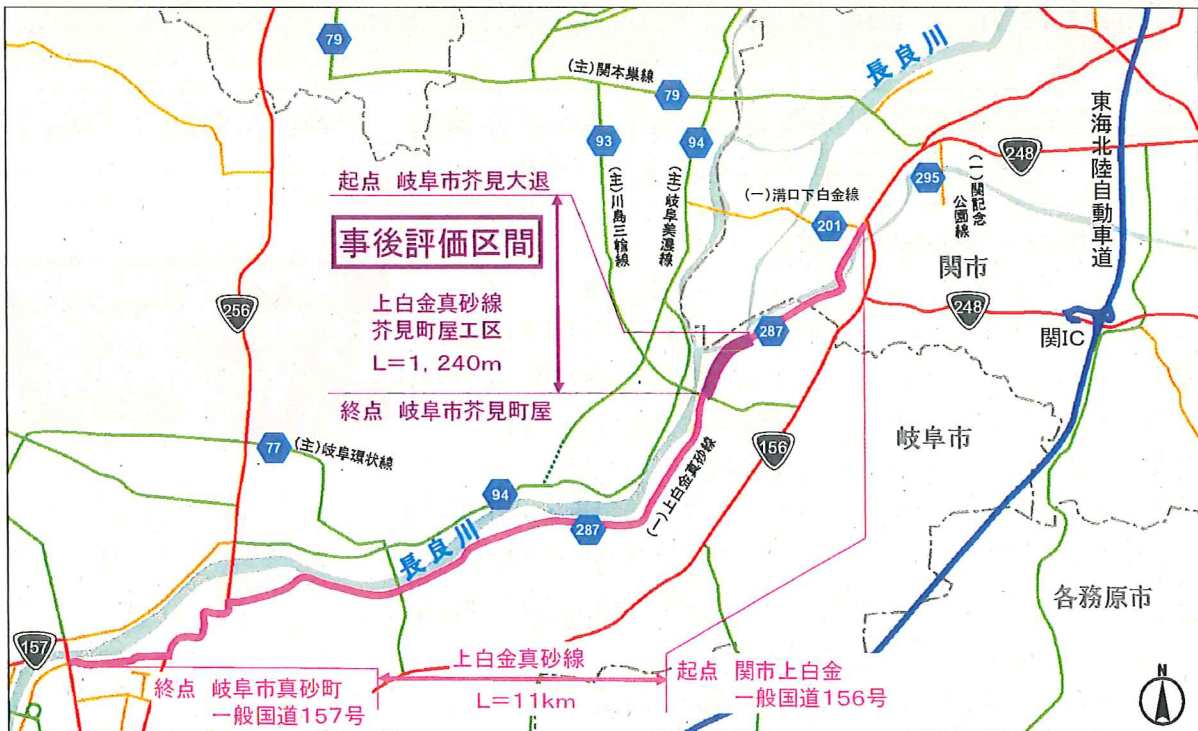
道路改築事業

一般県道 上白金真砂線(芥見町屋工区)



県土整備部 道路建設課
平成26年1月

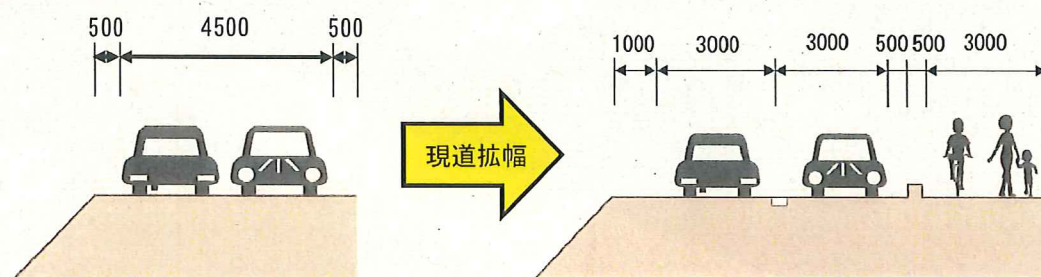
位置図



事業概要

- ◆起 終 点：岐阜市芥見大退ぎふしあくとみ おおのぎ～岐阜市芥見町屋ぎふしあくとみ まちや
- ◆全体延長：1,240m
- ◆総事業費：約15億円
- ◆事業着手：平成14年度
- ◆完 成：平成23年度
- ◆幅 員：車道 3.00m×2車線
自歩道 3.00m (片側)

標準横断図



3

住民の参加・協働による効果

◆計画段階、事業中及び完了後の住民参加による効果

■上芥見幹線道路対策委員会（道づくり委員会）や地元説明会を開催し、住民の方の理解を得ながら、円滑に事業を推進

□道づくり委員会等の開催状況

	開催日	実施状況
計画段階	H13.11.15	第1回上芥見幹線道路対策委員会
	H13.12.11	第2回上芥見幹線道路対策委員会
	H14.1.11	地元説明会（町屋地区以外）
	H14.1.12	地元説明会（町屋地区）
事業中	H14.3.18	第3回上芥見幹線道路対策委員会
	H14.9.30	第4回上芥見幹線道路対策委員会
	H15.7.24	第5回上芥見幹線道路対策委員会
	H15.8.7	用地説明会（大退地区）
完了後	H15.8.20	用地説明会（町屋地区）
	H25.10.30	第6回上芥見幹線道路対策委員会

6回の道づくり委員会と
2回の地元説明会
2回の用地説明会

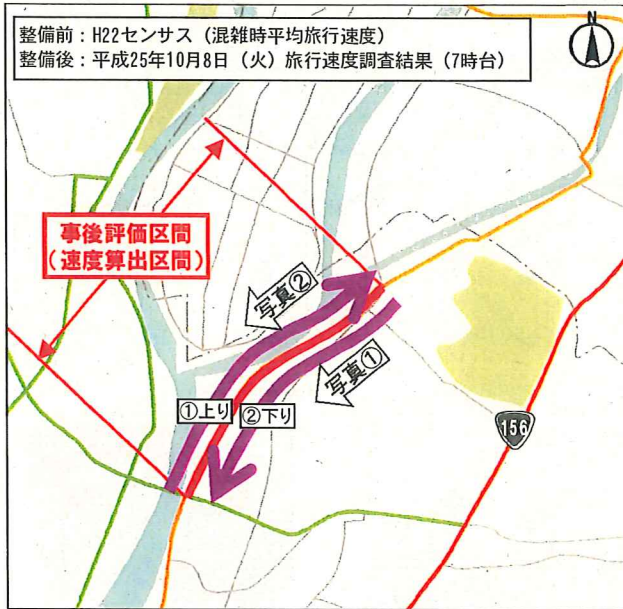
■上芥見幹線道路対策委員会
上白金真砂線の道路計画に関する
地元関係者の方々の意見を伺う会議

事業の効果①

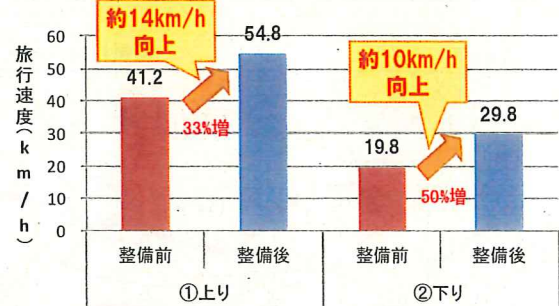
利便性：ボトルネックの解消

- ピーク時の旅行速度が上り14km/h、下り10km/h向上
- 当該区間の交通量が約1,000台増加

□旅行速度の算定区間



□ピーク時の旅行速度の変化



□交通量の変化



整備前：H22センサス 整備後：平成25年10月8日（火）調査結果

5

事業の効果②

利便性：周辺道路の混雑の緩和

- 当該区間の2車線化により、並行する国道156号の交通量が減少し、旅行速度が向上。

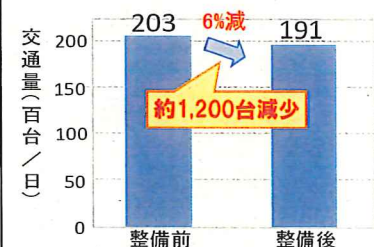
□周辺道路の交通量と旅行速度



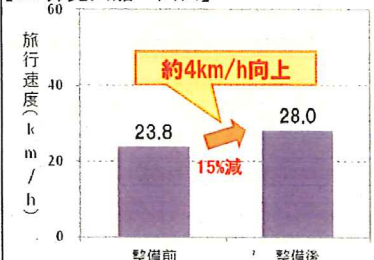
整備前：H22センサス（速度は混雑時平均旅行速度）
整備後：平成25年10月8日（火）調査結果（速度は8時台）

国道156号

【①芥見大船交差点（北断面）】



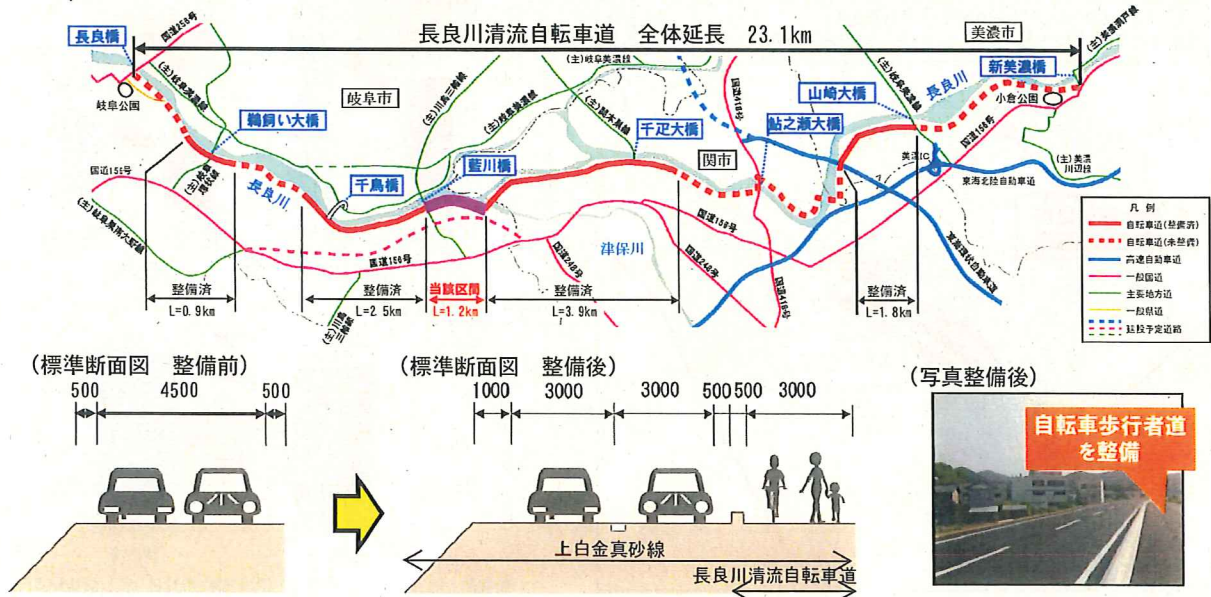
【A. 芥見大船～山田】



事業の効果③

安全・安心：安全で快適な歩行者・自転車通行空間の確保

- 当該区間は、長良川清流自転車道として位置づけ
- 当該区間の前後は自転車道として整備済みであり、今回の整備により一連区間の整備が完了した。（千鳥橋～千疋大橋）



7

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 91%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 8%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 1%

投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 2.3 \text{ (全体)}$$

H24. 4. 1開通時点

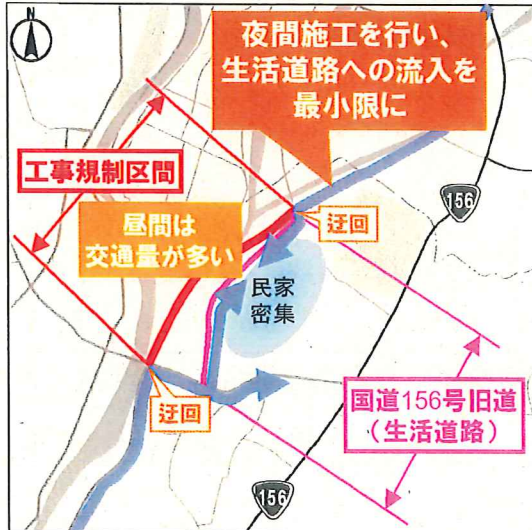
※費用便益分析マニュアル(国土交通省H20. 11)に基づき算出

環境面への配慮

◆工事施工中における住民への生活環境配慮

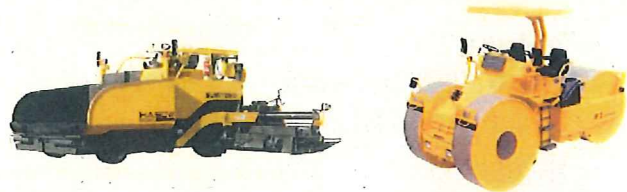
- 当該区間の舗装施工時の規制により、民家が密集する生活道路が迂回路となるため、住民の生活環境に配慮し、交通量の多い昼間の施工を避け、夜間施工を実施。
- 夜間施工時における就寝中の住民に配慮するため、超低騒音型の重機を使用。

□生活道路への交通流入に配慮



□夜間騒音に配慮し超低騒音型の重機を使用

- アスファルトフィニッシャー ○ロードローラー



- タイヤローラー ○コンバインドローラー

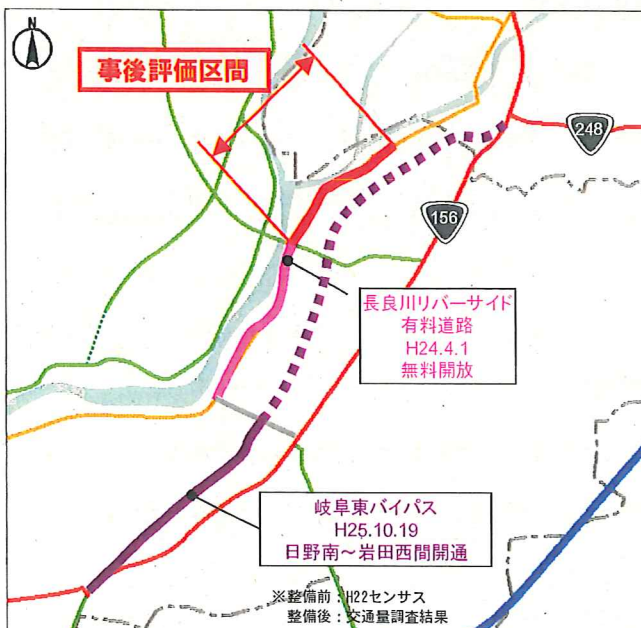


※超低騒音型重機: 国土交通省が定める騒音基準を満たした重機

事業を巡る社会経済情勢の変化

- ◆当該区間に直結する有料道路が無料化
- ◆当該区間の周辺に位置する岐阜東バイパスが一部区間開通

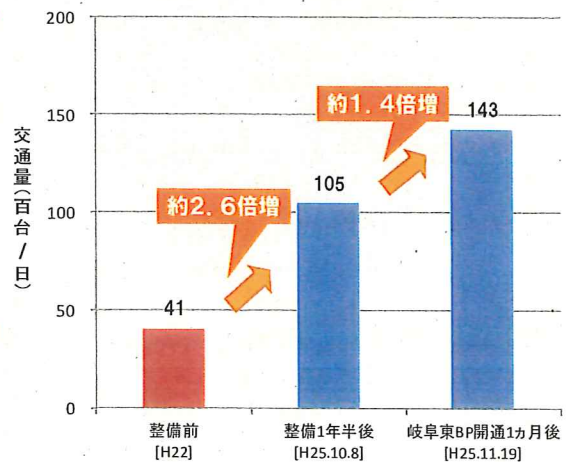
□周辺道路の状況



□無料化前後の交通量の変化

【当該路線】

①長良川リバーサイド(無料化)



利用者・地域住民等への効果①

◆アンケート調査の概要

■事後評価区間を利用する免許保有者にアンケートを実施
(月数回以上の利用がある人を対象)

□アンケート調査概要

<調査目的>

(一)上白金真砂線芥見町屋工区の整備に対する利用者の満足度を明らかにする

<調査項目>

- ①当該区間の利用状況
- ②整備による満足度

<調査日時>

平成25年10月16日(水)～平成25年10月22日(火)

<回収数>

総数	岐阜市	関市	美濃市	各務原市	山県市
400	239	94	12	48	7

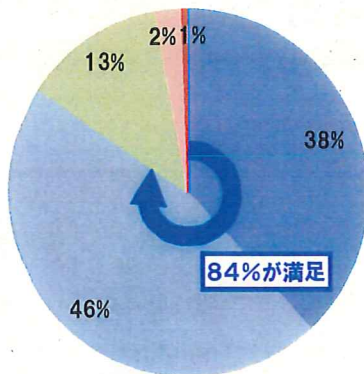
11

利用者・地域住民等への効果②

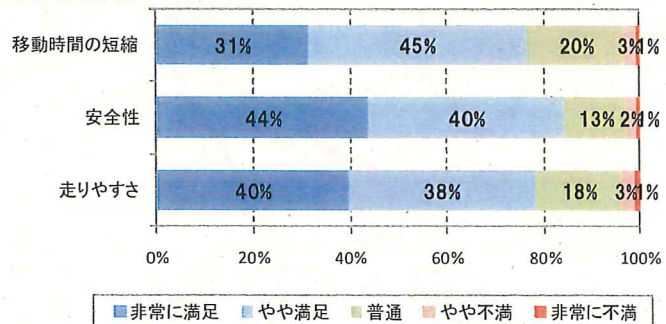
◆アンケート調査結果（事業に対する満足度）

■当該区間の整備に対して、84%から満足の回答が得られている

<全体評価>



<項目別評価>



<具体意見>

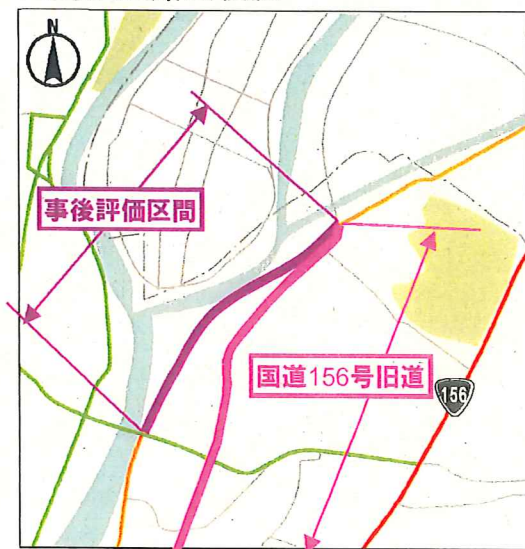
- 移動時間の短縮
 - ✓岐阜市から関市への移動時間が短くなった(岐阜市在住男性)
- 安全性
 - ✓通行量が多い道路であるにもかかわらず、一車線ですれ違いする際の危険があったが、改善され使いやすくなった
- 走りやすさ
 - ✓自転車が歩道を通るようになり、自動車ですれ違いが安心して走れるようになった

利用者・地域住民等への効果③

◆ヒアリング調査結果

■当該区間の完成により、並行する国道156号旧道を通過する交通が減少し、安全性や走行性が向上

□周辺道路の状況



【周辺自治会】

完成前は、岐阜～関市間における通勤での利用の際に、国道156号旧道を利用される方がいました。完成後は、上白金真砂線に交通が転換したと感じています。



【消防・救急】

当該区間を利用した実績はまだ少ないですが、以前より走行しやすくなったと感じています。



【タクシー事業者】

車両と歩行者・自転車が分離され、安全に通行することができるようになったと感じています。



13

対応方針(案)

◆今後の事後評価の必要性

- 走行時間短縮、歩行者・自転車の安全性確保など、事業効果を確認
- 沿線住民等へのアンケートでも、約8割以上の「満足」を確認
⇒今の段階では今後の事後評価の必要なし

◆改善措置の必要性

- 今の段階では改善措置の必要なし
今後、新たな課題が生じた場合には対応していく

◆新規事業への適用すべき留意点

- 今後も引き続き、関連する各種事業との連携を図りつつ、計画的に道路事業を立案・推進していく